

ページオブジェクトパターンによる自動テストメンテナンスの効率化

Page Object Design Pattern To Improve Test Script Maintainability

藤澤正通

FujisawaMasamichi@next-group.jp

株式会社ネクスト HOME'S 事業本部 サービス推進部 品質管理グループ

発表要旨：

GUI テストの自動化において問題となるのは、ユーザーインターフェースの変更に追従するためのメンテナンス工数の確保とモチベーションの維持である。特にウェブアプリケーションの世界においては UI の変更が頻繁に行われるため、スクリプトのメンテナンス容易性というのは非常に大きなテーマである。弊社では昨年より「Selenium」という自動テストツールを採用し、回帰テストの自動化に取り組んできた。Selenium は「キャプチャ&リプレイ」方式による記録・実行が容易なツールであるが、生成されたスクリプトのメンテナンスは容易であるとは言えず、テスト範囲が拡大するに従ってメンテナンスにかかる工数が許容できない規模となってきた。そこでテストスクリプトの作成方法を、キャプチャ&リプレイ方式からプログラミング言語による記述に変更し、また同時にテストスクリプトの構造として、「シナリオ」と「ウェブページへのアクセス」を別々のスクリプトに分割する「Page Object Pattern」を採用した。この手法によりテストスクリプト記述を最小限に抑えることが可能となり、テストスクリプトの作成・メンテナンスの手間の大幅な削減が期待できる。本発表では「Page Object Pattern」の考え方、実現方法と弊社での工夫と成果を述べる。

キーワード：

自動化、回帰テスト、テスト設計、工数削減、Selenium

想定している聴衆

テストの自動化に取り組まれている方、もしくはこれから取り組みたいと考えている方。

発表者の紹介（全角100文字）：

2002年から2011年まで、3次元CADシステムの開発・品質管理に従事。2012年より、現職にてWebサービスの品質維持・向上に関する業務全般を担当。現在は特に、自動化による品質向上に注力している。